



(財)財務会計基準機構会員

平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 8 月 8 日

上場会社名 富士急行株式会社

上場取引所 東証一部

コード番号 9010

URL <http://www.fujikyuu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堀内 光一郎

問合せ先責任者 (役職名) IR推進室長兼経営管理部長

(氏名) 和田 一成

TEL (0555) 22-7120

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 3 月期第 1 四半期	11,028	13.0	865	46.0	650	68.5	57	42.8
19 年 3 月期第 1 四半期	9,756	1.4	592	14.0	386	29.9	100	54.7
19 年 3 月期	46,414	-	4,710	-	3,813	-	1,638	-

	1 株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	0.54	-
19 年 3 月期第 1 四半期	0.95	-
19 年 3 月期	15.39	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	88,318	15,571	17.0	140.51
19 年 3 月期第 1 四半期	86,662	13,474	15.2	125.06
19 年 3 月期	85,680	16,105	18.1	145.62

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年 3 月期第 1 四半期	882	884	2,977	9,279
19 年 3 月期第 1 四半期	1,169	1,691	2,606	8,883
19 年 3 月期	6,689	6,234	948	6,304

2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日 ~ 平成20年3月31日)【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
中間期	26,220	13.2	3,840	23.8	3,340	24.9	1,540	1.9	14.43
通 期	49,500	6.6	5,300	12.5	4,300	12.8	1,990	21.4	18.65

平成19年5月9日公表の業績予想からの変更はありません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想については、現時点での情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、要因の変化により異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の営業収益は110億28百万円(前年同期比13.0%増)、営業利益は8億65百万円(同46.0%増)、経常利益は6億50百万円(同68.5%増)となりましたが、役員退職慰労引当金の計上等により四半期純利益は57百万円(同42.8%減)となりました。

セグメント別の営業の概況は以下のとおりであります。

(1)運輸業

主力のバス事業では、乗合バスで、好評の港区コミュニティバス「ちいばす」に引き続き、本年4月より横浜市営バス路線の一部(桜木町駅～本牧本町循環)を譲り受け、運行を開始しました。また、高速バスは、富士五湖方面への利用客が増加、さらに貸切バスも堅調に推移したことから全部門で増収となりました。また、ハイヤー・タクシー事業、船舶事業も増収となった結果、運輸業全体の営業収益は、44億25百万円(前年同期比4.0%増)、営業利益は、4億11百万円(同34.1%増)となりました。

(2)不動産業

不動産販売事業では、山中湖畔別荘地で建築デザイナーやハウスメーカーとのコラボレーション等による「クオリティライフプロジェクト」シリーズに新商品「ミルクリーク山中湖」を加え別荘商品販売に取り組みました。不動産販売が増収となった結果、賃貸業等を含む不動産業全体の営業収益は、9億22百万円(前年同期比44.1%増)、営業利益は、3億83百万円(同128.0%増)となりました。

(3)レジャー・サービス業

遊園地事業では、「富士急ハイランド」が、天候不順等による影響があったものの、昨年7月に導入した大型アトラクション「ええじゃないか」の効果により増収となりました。また、本年2月に事業を譲り受けた「さがみ湖ピクニックランド」も増収に寄与しました。

ホテル事業では、昨年11月にオープンした温浴施設「ふじやま温泉」を併設する「ハイランドリゾート ホテル&スパ」が増収となりました。また、ゴルフ場事業、指定管理事業も堅調に推移した結果、レジャー・サービス業全体の営業収益は、48億12百万円(前年同期比16.6%増)となりましたが、税法改正に伴う減価償却費の増加等により営業損益は、1億19百万円(同25.5%減)となりました。

(4)その他の事業

製造販売業で交通機器安全装置の販売等が好調でしたが、建設業において、新築工事の完成が遅れたこと等により営業収益は、14億10百万円(前年同期比6.8%減)となり、34百万円の営業損失となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1)財政状態の変動状況

第1四半期における総資産は、883億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億38百万円増加しました。これは、主に現金及び預金の増加やたな卸資産(分譲土地等)の取得などによるものです。

負債につきましては、借入金の増加や役員退職慰労引当金の計上等により31億72百万円増加しました。

また、純資産は、配当金の支払等により5億33百万円の減少となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少やたな卸資産（分譲土地等）の取得に伴う資金支出等がありましたが、税金等調整前四半期純利益や減価償却費等の内部留保があり、8億82百万円の資金収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、補助金等の受入による収入がありましたが、有形固定資産の取得による支出等により8億84百万円の資金支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは長期借入金の実行等により29億77百万円の資金収入となりました。

これらの結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物は92億79百万円で前連結会計年度末に比べ29億74百万円増加いたしました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年3月期の業績予想につきましては、概ね予想の範囲内で推移しており、平成19年5月9日発表の中間期及び通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はございません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無

該当事項はございません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無

（固定資産の減価償却の方法の変更）

当第1四半期連結会計期間より法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく方法により減価償却費を計上しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

また、平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産のうち改正前の償却可能限度額まで償却が終了しているものについては、残存価額を5年間で均等償却しております。この変更による損益への影響は、従来の方法に比べ営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ76百万円減少しております。

（役員退職慰労引当金の計上）

平成19年8月8日をもって役員退職慰労金制度を廃止しました。従来、支出時の費用として処理しておりました役員退職慰労金は、「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金並びに役員退職慰労引当金等に関する監査上の取扱い」（日本公認会計士協会 監査・保証実務委員会報告第42号 平成19年4月13日）により、その支給見込額を役員退職慰労引当金として計上しました。

この変更による損益への影響は、従来の方法に比べ営業費用は6百万円増加し、特別損失は3億44百万円増加しております。これにより、営業利益と経常利益はそれぞれ6百万円、税金等調整前四半期純利益が3億50百万円減少しております。

5.(要約)四半期連結財務諸表

(1)(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考)前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
(資産の部)					
流 動 資 産	26,048	26,140	92	0.4	23,301
現金及び預金	9,040	9,383	343	3.8	6,441
受取手形及び売掛金	2,147	2,132	14	0.7	2,681
たな卸資産	13,755	13,619	135	1.0	13,088
その他の	1,106	1,005	100	9.1	1,090
固 定 資 産	60,613	62,177	1,564	2.6	62,378
有形固定資産	50,758	51,786	1,028	2.0	51,922
建物及び構築物	26,418	28,115	1,697	6.4	28,018
機械装置及び運搬具	6,721	8,283	1,561	23.2	8,495
土地	13,305	13,541	236	1.8	13,519
建設仮勘定	2,654	298	2,355	88.7	275
その他の	1,658	1,546	111	6.7	1,612
無形固定資産	2,976	2,991	14	0.5	3,002
投資その他の資産	6,878	7,400	522	7.6	7,454
投資有価証券	5,102	5,668	566	11.1	5,732
その他の	1,775	1,732	43	2.5	1,721
資産合計	86,662	88,318	1,656	1.9	85,680

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考)前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
(負債の部)					
流 動 負 債	23,050	24,242	1,191	5.2	22,888
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	2,295	2,053	242	10.6	3,052
短 期 借 入 金	15,952	16,748	796	5.0	14,884
賞 与 引 当 金	164	161	2	1.8	505
そ の 他	4,638	5,278	640	13.8	4,445
固 定 負 債	50,136	48,504	1,631	3.3	46,686
長 期 借 入 金	43,659	41,838	1,821	4.2	40,288
退 職 給 付 引 当 金	1,630	1,547	82	5.1	1,520
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	-	342	342	-	-
そ の 他	4,846	4,775	70	1.5	4,877
負 債 合 計	73,187	72,746	440	0.6	69,574
(純資産の部)					
株 主 資 本	12,644	14,448	1,804	14.3	14,932
資 本 金	9,126	9,126	-	-	9,126
資 本 剰 余 金	3,321	3,399	77	2.3	3,399
利 益 剰 余 金	2,123	3,187	1,063	50.1	3,661
自 己 株 式	1,927	1,264	662	34.4	1,254
評 価 ・ 換 算 差 額 等	548	544	4	0.8	608
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	548	544	4	0.8	608
少 数 株 主 持 分	281	578	297	105.9	564
純 資 産 合 計	13,474	15,571	2,097	15.6	16,105
負 債、純 資 産 合 計	86,662	88,318	1,656	1.9	85,680

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当 四 半 期 (平成20年3月期 第1四半期)	増 減		(参考)前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
営 業 収 益	9,756	11,028	1,271	13.0	46,414
営 業 費	9,164	10,162	998	10.9	41,703
運輸事業等営業費 及び売上原価	8,838	9,864	1,026	11.6	40,431
販売費及び一般管理費	326	298	27	8.5	1,272
営 業 利 益	592	865	272	46.0	4,710
営 業 外 収 益	88	89	0	1.1	385
営 業 外 費 用	295	304	9	3.2	1,282
経 常 利 益	386	650	264	68.5	3,813
特 別 利 益	6	47	40	606.7	281
固定資産売却益	-	35	35	-	55
投資有価証券売却益	-	0	0	-	2
工事負担金受入額	-	-	-	-	77
補助金	2	-	2	-	133
貸倒引当金戻入額	4	12	7	179.7	11
特 別 損 失	123	362	238	193.1	1,223
固定資産売却損	-	-	-	-	296
分譲土地評価損	-	-	-	-	300
役員退職慰労引当金繰入額	-	344	344	-	-
固定資産圧縮損	2	-	2	-	198
固定資産除却損	121	18	103	84.9	426
税金等調整前四半期<当期>純利益	269	335	66	24.5	2,871
法人税、住民税及び事業税	29	212	183	622.4	1,146
法人税等調整額	141	62	78	55.7	30
少数株主利益又は少数株主損失()	2	2	4	-	117
四半期<当期>純利益	100	57	43	42.8	1,638

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区 分	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	(参考)前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	269	335	2,871
減 価 償 却 費	831	965	3,566
その他の損益等調整額	339	227	1,938
資産・負債の増減額	458	398	371
小 計	1,899	1,925	8,747
利息の支払額等	256	271	1,143
法人税等の支払額	473	771	915
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,169	882	6,689
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	1,800	1,126	6,640
その他の	108	242	406
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,691	884	6,234
財務活動によるキャッシュ・フロー			
借入金 の 増 減 額	2,999	3,413	1,439
そ の 他	393	436	490
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,606	2,977	948
現金及び現金同等物の増減額	2,084	2,974	493
現金及び現金同等物の期首残高	6,798	6,304	6,798
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	8,883	9,279	6,304

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期(平成19年3月期 第1四半期)

(単位:百万円)

	運輸業	不動産業	レジャー・サービス業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
営業収益							
(1)外部顧客に対する営業収益	4,243	521	4,070	921	9,756	-	9,756
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	12	118	57	590	780	(780)	-
計	4,256	640	4,127	1,512	10,537	(780)	9,756
営業費用	3,950	471	3,968	1,544	9,934	(770)	9,164
営業利益	306	168	159	32	602	(9)	592

当四半期(平成20年3月期 第1四半期)

(単位:百万円)

	運輸業	不動産業	レジャー・サービス業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
営業収益							
(1)外部顧客に対する営業収益	4,408	806	4,742	1,070	11,028	-	11,028
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	17	115	69	339	542	(542)	-
計	4,425	922	4,812	1,410	11,570	(542)	11,028
営業費用	4,014	538	4,693	1,444	10,691	(528)	10,162
営業利益	411	383	119	34	879	(13)	865

(参考)前期(平成19年3月期)

(単位:百万円)

	運輸業	不動産業	レジャー・サービス業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
営業収益							
(1)外部顧客に対する営業収益	16,970	2,398	21,254	5,790	46,414	-	46,414
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	54	457	310	2,242	3,066	(3,066)	-
計	17,025	2,856	21,565	8,033	49,480	(3,066)	46,414
営業費用	15,882	2,205	18,853	7,788	44,729	(3,026)	41,703
営業利益	1,142	650	2,711	245	4,750	(39)	4,710